比電荷と光電効果 限界振動数と仕事関数（12問）　版Aの答え

※ $\nu_0 = W/h$、$\lambda_0 = c/\nu_0$。W を J に直すときは 1.6×10^{-19} をかけます。

$h = 6.6\times10^{-34}$ J·s、$e = 1.6\times10^{-19}$ C、$c = 3.0\times10^{8}$ m/s。有効数字2けたで。

(1) 仕事関数 2.8 eV の金属の限界振動数は何 Hz か。
6.8×10^{14} Hz

(2) 仕事関数 2.2 eV の金属の限界波長は何 m か。
5.6×10^{-7} m

(3) 仕事関数 2.0 eV の金属の限界波長は何 m か。
6.2×10^{-7} m

(4) 仕事関数 3.0 eV の金属の限界波長は何 m か。
4.1×10^{-7} m

(5) 仕事関数 2.2 eV の金属の限界振動数は何 Hz か。
5.3×10^{14} Hz

(6) 仕事関数 3.3 eV の金属の限界波長は何 m か。
3.8×10^{-7} m

(7) 限界振動数 8.0×10^{14} Hz の金属の仕事関数は何 eV か。
3.3 eV

(8) 仕事関数 3.6 eV の金属の限界振動数は何 Hz か。
8.7×10^{14} Hz

(9) 限界振動数 5.0×10^{14} Hz の金属の仕事関数は何 eV か。
2.1 eV

(10) 限界振動数 9.0×10^{14} Hz の金属の仕事関数は何 eV か。
3.7 eV

(11) 限界振動数 7.0×10^{14} Hz の金属の仕事関数は何 eV か。
2.9 eV

(12) 仕事関数 4.0 eV の金属の限界振動数は何 Hz か。
9.7×10^{14} Hz